

# 入試学力

筆者は過日「高等学校の学習指導における現状と課題について」という演題の講演会に参加してきました。▼先行きの不透明な不確実な時代の中で、如何に無理せず、学校が変わっていくべきかが問われています。▼平成29年度入試の個々の大学の動向については、指導部の指導に委ねます。ここでは大学入試を取り巻く変化について記してみます。▼進学校教員のフリールアンサーを紹介します。①テクニクで解くのではなく、文章全体を読み取り、自分の言葉で説明する類の問題が増えている。②背景

を推測して記述するものが増え、結果として難化したと感じた生徒が多かった。③どう相手に自分の考えを伝えるかに力点が置かれる問題が多くなってきた。▼④和文英訳的な英作文が姿を消し、まとまった量の英文を読み、自分の意見を書くエッセイライティングへの変化。それは英語力ではなくその元の国語力を問うものと思われる。▼国立でも評定平均値やセンタ試験の基準点に「概ね」がついたり、科学オリンピック大会出場等が削除され、出願要件が緩和されてきました。▼重要なことは、国語力をしっかり身につけて、学園生活でどれだけ充実した生活を送ってきたかが問われる時代が確実にやってきましたと言えます。

- ◎正しい漢字の読みは？
  - ①月極 A げつきよく B つきぎめ
  - ②一入 A ひとしお B いちにゅう
  - ③間髪を入れず  
A かんぱつ B かんはつ
  - ④独擅場 A どくだんじょう  
B どくせんじょう
  - ⑤糟糠の妻 A そうつこう  
B そうつこう
- (説明)
- ① B 月々の契約の意。「極め」は決めとも書き決めること。決定の意。
  - ② A ひときわ、一層の意。「入」は染物を染液に入れる回数のこと。
  - ③ B 髪一本入れる隙間もないほど緊迫した状態の意。
  - ④ B 正しい読みはBです。Aは「擅」を「壇」と見間違えた誤読。近年は「独壇場」と表記されることが多く、これが一般に定着しつつある。
  - ⑤ B 「糟糠」は米ぬかと酒粕のこと。貧しい食事の意。出世した男性の貧しい頃から苦労をともにしてきた妻に対して使用される言葉。